

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○2月14日～

先週は比較的堅調な動きだったのですがマーケットが終わる頃にロシアのウクライナ侵攻に対する懸念が高まり、米国株などが急落、為替も円高の動きとなりました。

週明けのマーケットの動きに注意したいと思います。

米国は長期金利が2%を超えてきました。さらにインフレ率も7.5%となり、予想を上回っています。日本は長期金利の上昇を抑えるため今週から国債の指値買いオペを実施するという事で中期的なドル高円安トレンドに変化はなさそうです。

<ドル/円>

ドル/円は年初の高値の116.3円まで上げた後、115円台半ばまで下げました。

トレンド的には円安が続いているので、116.4円を超えていけば118円台が視野に入ってくるそうです。

下値は114円台までの調整であれば問題なく、押し目買い戦略がよさそうです。

<気になるクロス円>

ユーロはウクライナ問題のため他の通貨よりも下げがきつくなっています。

株が下がってくるとリスク回避の動きが強まるため下げ始めたら注意がいります。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では10-12月期GDP（速報値）、1月全国消費者物価指数などがあります。

米国では1月卸売物価指数、2月ニューヨーク連銀製造業景気指数、12月対米証券投資、1月小売売上高、1月鉱工業生産、FOMC議事要旨、前週分新規失業保険申請件数、1月住宅着工件数、2月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、1月中古住宅販売件数、1月景気先行指標総合指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏でラガルドECB総裁発言、10-12月期GDP（改定値）、12月鉱工業生産、ドイツとユーロ圏で2月ZEW景況感調査などがあります。

ほかには、英国とカナダで1月消費者物価指数の発表などがあります。